

## 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	九州大学				
取 組 名 称	専門知識に立脚した実践英語討議能力の育成				
取組学部等	歯学部				
申 請 区 分	教育課程の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A11059	申請の形態	単独	取組期間	3年
申請の分類	外国語				
キーワード	歯学国際リーダー, 実践的歯学英语討議能力, 基盤的歯学専門知識, e-learning				

### <選定理由>

本取組は歯学分野における国際リーダーの養成を目指したものであり、歯学英语教育において学部教育とFDを有機的に結びつけて、将来的に大学院教育につなげようとするものである。

特に実施体制が系統立っており、取組の趣旨、目的が現代の歯学教育における問題点に対応しうる内容を含んでいる点が有意義であり、評価できる点である。

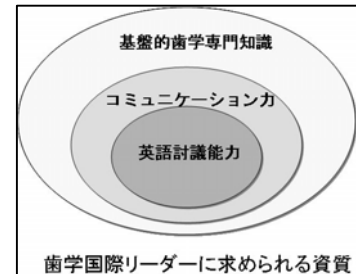
また、英語力を向上する取組として、低年次全学教養英語教育を担当している言語文化研究院との協力体制を敷くなど、全学的な取組となっているところも高く評価できる。

ただし、実際の教育課程の制定や教材作成はこれからであるので、より一層の具体的な検討と実施体制の速やかな確立が望まれる。

## 取組の概要【1ページ以内】

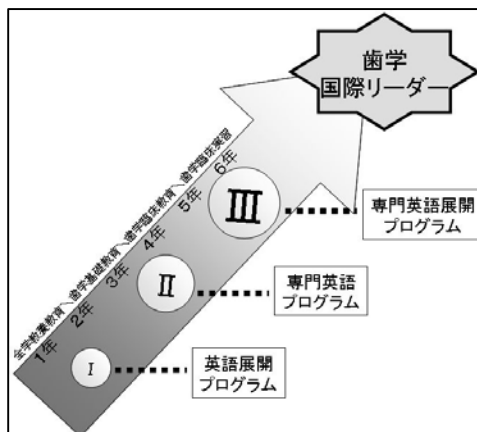
九州大学歯学部は**歯学国際リーダー**を育成することにある。**歯学国際リーダー**とは世界的レベルの研究・臨床を行うだけでなく、国際学会のリーダーとしてイニシアティブを発揮する人材であり、国際機関（国連やWHO等）に所属し世界の歯科保健の向上に寄与する人材である。国際社会に貢献する人材の育成は、21世紀型知識基盤社会の中で我が国に求められる重要な役割のひとつである。

**歯学国際リーダー**には3つの資質が求められる。第1は基盤となる確固たる歯学専門知識である。第2は対人コミュニケーション能力である。第3は基盤的知識や自分の意見・考えを英語で相手に伝え議論・説得する能力、すなわち英語討議能力である。基盤的歯学専門知識やコミュニケーション能力についてはすでにカリキュラムが整備され、十分な教育効果を上げている。しかしながら第3の資質育成の仕組みはまだ充分には確立していない。



中学・高校・低年次全学教養科目までに修得してきた英語力を基本にして、中高年次において**基盤的歯学専門知識**に立脚した**実践的歯学英語討議能力**を育成することが、本取組の目的である。そのために、歯学部入学直後から卒業までの**6年間を一貫した視点**に立ち、次の3段階のプログラムを構築する。

第1段階は**英語展開プログラム**である。高校までに習得した英語力を評価し(TOEFL-ITP)、低年次全学教養英語教育を担当している**言語文化研究院**と情報を交換し今後の指導指針とする。また**言語文化研究院**が全学的に提供しているe-learningによる英語自習コンテンツを積極的に活用し、一般的（患者の視点）な医学歯学に関する英会話を経験させる。e-learningを利用してユビキタスな学習環境を提供し、定期的に評価・フィードバックすることで、低年次の学生に対して**学習の習慣化**を確立させる段階でもある。



第2段階は**専門英語プログラム**である。歯学専門教育課程に合わせて歯学専門英語教育を進める。基本的な診療場面シミュレーションを設定し、歯科診療に関連する専門英語を、患者への説明の際に使用する日常会話レベルで用いることができるようにする。一般人(患者)の視点から、医療者の視点に転換する時期である。具体的には学生同士で患者と医師に扮してロールプレイを英語で行う。ロールプレイ風景はビデオに撮影し、自ら視聴することで自分自身の英語コミュニケーション能力の「振り返り」や「気づき」の機会を与える。

第3段階は**専門英語展開プログラム**である。専門英語会話能力を駆使して討議する能力を養う。診療シミュレーションによる症例発表や症例検討会、模擬患者との英語による医療面接を実施する。本院が毎年開催している国際シンポジウムやJICA集団研修コースに学生を参加させることで**実践的歯学英語討議**を必要とする実際の現場を体験させ、モチベーションを高める。これらにより**基盤的歯学専門知識に立脚した実践的歯学英語討議能力**を育成する。

ステップの変わり目と卒業時にはTOEFL-ITPや簡易OSCEを実施して修得状況を評価する。これらの能力を修得すれば、大学院において獲得する高い専門知識に対しても**実践的歯学英語討議能力**へ容易に展開でき、**歯学国際リーダー**へ近づくことができる。

なお、本プログラムの一部は**言語文化研究院**の協力を得て先行実施している。